

チャイニーズ・クレストド・ドッグの改正部分

改 正	現 行
<p>■用途 コンパニオン・ドッグ</p> <p>■沿革 ヘアレスとパウダー・パフの 2 つのバラエティーがある。「ヘアレス」は頭部から頸にかけて冠毛(クレスト)があり、指趾は「ソックス」で覆われており、尾にはブルームがある。その他のボディはその名が示すように被毛がない。「パウダー・パフ」バラエティーは全体を柔らかいベールのような長毛で覆われている。発祥地を正確に示すことは難しいが、中国の漢時代に家庭で飼われていたと言われている。この時チャイニーズ・クレストド・ドッグは宝庫の番犬として、また、狩猟犬としてより大きく体重があるものに発展していった。1885 年から 1926 年にかけてアメリカのショーで見られたが、その後 50 数年は殆ど見られなかった。</p> <p>■習性／性格 明るく、決して攻撃的ではない。</p> <p>■頭部 □顔部 顎／歯 顎は力強く、歯は完璧な正しい歯列のシザーズ・バイトで、顎に対して垂直に生えており、上歯と下歯は密接に重なり合っている。ヘアレス・バラエティーには前向きの犬歯という原始的な特徴があるため、完全な歯列でなくてもペナルティーを課すべきではない。</p> <p>頬 マズルに向かって先細る。</p> <p>目 中位の大きさのアーモンド型で、離れて付いている。</p> <p>□頸 引き締まって、スローティネスはなく、長く、頑丈な肩に向かって優雅に傾斜している。</p> <p>■四肢 □前軀 前足</p>	<p>■用途 愛玩犬</p> <p>■沿革 (差し替え)</p> <p>■習性／性格 明るく、決して癖の悪い犬ではない。</p> <p>■頭部 □顔部 顎／歯 顎は力強く、歯は完璧な正しい歯列のシザーズ・バイトで、顎に対して垂直に生えている。</p> <p>頬 マズルに行くに従って先細る。</p> <p>目 中くらいの大きさで、離れてついている。</p> <p>□頸 細く、引き締まって、スローティネスはなく、長く、頑丈な肩に向かって優雅に傾斜している。</p> <p>■四肢 □足 完全なヘアー・フットで細く、たいへん長い。又、</p>

ヘアー・フットで細く、長い。爪はいかなる色でもよく、適度な長さである。ソックスは指趾に集中するのが理想的で、パスターンの上部を越えてはならない。足は内外向しない。

□後軀

後足

ヘアー・フットで細く、長い。爪はいかなる色でもよく、適度な長さである。ソックスは指趾に集中するのが理想的で、パスターンの上部を越えてはならない。足は内外向しない。

膝

丈夫で、長く、飛節に向かって滑らかになじんている。

■皮膚

きめ細かく、滑らかで、温かい。

■被毛

□毛

ボディのいかなる部分にも被毛の大きな斑があってはならない。長く、流れるような冠毛が好ましいが、まばらでも許容される。ストップから頸にかけて徐々に少なくなっていくのが理想的である。パウダー・パフでは、下毛と柔らかいベールのような長い上毛があり、このベールのような被毛はこの犬種の特徴である。

特に前足には関節と関節の間に独特の長く小さい骨があり、余分な関節があるように見える。爪はどの色でもよく、適度な長さである。ソックスは指趾に集中するのが好ましく、パスターンの上部を越えてはならない。足及び指趾は内向も外向していない。

膝・下腿

スタイフルは丈夫で、下腿は長く、飛節に向かってスムーズになじんている。

(追加)

■被毛

□毛

ボディのどの部分にも被毛の大きな斑があってはならない。皮膚はきめ細かく、スムーズで、暖かい。パウダー・パフには、下毛と柔らかいベールのような長い上毛があり、このベールのような被毛はこの犬種の特徴である。